

朗読ミュージカル

山崎陽子の世界

— 第1部 —



紫とも

朗読ミュージカル

「白檀の扇子」

(東直子「とりつくしま」より)

作・山崎陽子 作曲・片野真吾
紫とも ピアノ・清水玲子

誰でも、いつかはこの世に別れを告げなければなりません、命の灯が消える時に現れて声をかけるのが“とりつくしま係”だという。「あなたが未練を残している物があれば、とりつくことができますよ」と。



平みち

朗読ミュージカル

「父さんの看病」

(デ・アミーチス「クオーレ物語」より) 平みち ピアノ・清水玲子

作・山崎陽子 作曲・藪内智子

少年マリオは出稼ぎに行った父親が、ナポリの病院に入院したという知らせをうけて駆けつける。見る影もなくやつれた父親は、マリオの献身的な看病の甲斐もなく、日ごとに弱っていくばかりだった。

休憩 (15分)

— 第2部 —

絵本から ...

愛の花束をあなたに



ピアノ 清水玲子

2023年 12月18日(月) 2:00pm (開場 1:30pm)

会場：内幸町ホール 6,000円 (自由席)

主催：オフィス・ディーバ 作・演出：山崎陽子 司会：中條秀子



山崎 陽子 (作・演出)

童話作家、ミュージカル脚本家。立教女学院卒業後、宝塚音楽学校、宝塚歌劇団を経て結婚。結婚十年目に書いた童話がきっかけとなり、次々に童話や絵本が出版され、その殆どがミュージカルとして上演されている。絵本は、中国、仏、独、米、台湾、韓国、ベルギーなどで翻訳されている。独自の舞台朗読ミュージカル「山崎陽子の世界Ⅳ」は、平成13年度文化庁芸術祭大賞を受賞。上演作品は60作を超えている。

朗読ミュージカルについて

1台のピアノ以外は装置も小道具もない舞台上、一人で歌い演じる「文学、音楽、演劇」が一体となった独特の世界。1990年より“朗読ミュージカル”と名付けられ、次々に発表された山崎作品は、「観る人の心に限りないイメージを広げ、暖かい空間を造り出す究極の舞台芸術」と高い評価を得、一度見たら虜になるといわれる上演作品はジャンルを超えた様々な音楽家、俳優からの脚本依頼が後を絶たない。



内幸町ホール 東京都千代田区内幸町1-5-1
都営三田線 「内幸町駅」 A5番出口徒歩5分
都営浅草線・東京メトロ銀座線 「新橋駅」 7番出口徒歩5分
JR新橋駅 日比谷口徒歩5分

泣いて、笑って、今こそ読みたい……

朗読ミュージカル 山崎陽子の世界 脚本集Ⅲ

定価 1,980 (本体 1,800+税)

脚本集Ⅲ (12作品)

- 舌切り雀 (太宰治「御伽草子」より)
- 人生は回転木馬 (O・ヘンリー「愛の使者」より)
- 氷の女王 (O・ヘンリー「都会の敗北」より)
- 丘の上の貴婦人 ある杉の木の物語
- 白檀の扇子 (東直子「とりつくしま」より)
- 高瀬舟 (森鴎外「高瀬舟」より)
- 春うらら (「女狂言 春うらら」より)
- 喪服のコニイ (O・ヘンリー「伯爵と婚礼の客」より)
- 真夏の貴婦人 (O・ヘンリー「桃源郷の短期滞在者」より)
- つれあい (内海隆一郎「連れあい」より)
- 最後のひと葉 (O・ヘンリー「最後のひと葉」より)
- 刑事ベン・ブライス (O・ヘンリー「罪と覚悟」より)
- 併録：山崎陽子のシャンソンから ある日 突然……/
ポケットの中/月と野良犬/酔いどれ女の独り言/祭りの宵に



発売中!

お求めは、全国の書店、書肆フローラ、オフィス・ディーバ(03-6429-3560)まで

脚本集Ⅰ (15作品)

- 父さんの看病 (テ・アミーチス「クオーレ物語」より)
- おほろ月夜
- 青い星の願い
- 新・つづみ物語
- 葉桜のころ (太宰治「葉桜と魔笛」より)
- 幻の肖像画
- 月あかり
- バルコニーにて 他

脚本集Ⅱ (13作品)

- いざ別荘へ (O・ヘンリー「警官と讃美歌」より)
- 水たまりの王子
- 善造どんと狸汁
- 杜子春 (芥川龍之介「杜子春」より)
- みそかの月 (樋口一葉「大つごもり」より)
- それぞれの空
- 白いジャンパー 他

好評既刊2点

チケットのお申し込みはこちらから 全席自由席

■ FAX : 03 - 6429 - 3561 / 3565

■ E-mail : info@roudoku-musical.com

お名前

〒

ご住所

お電話

12月18日(月) 2:00PM

枚

http://roudoku-musical.com

必要枚数をご記入下さい
お問い合わせはオフィス・ディーバ TEL 03-6429-3560